

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第5報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
生物圏担当
平成24年5月1日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

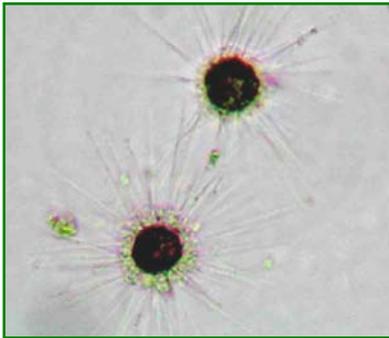
植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形または倒卵形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Raphidiophrys sp.
(ラフィディオフリス)
太陽虫類

体は球形で放射状に有軸仮足を出す。有軸仮足の根元は粘液と多数の骨片におおわれている。

コメント

植物プランクトンでは、黄色鞭毛藻に属するウログレナ (*Uroglena americana*) が増加して、細胞数でも体積でも優占種となった。網別の体積では、黄色鞭毛藻類が総体積の約46%、珪藻類が約34%、緑藻類が約17%を占めた。動物プランクトンでは、太陽虫のなかまのラフィディオフリス (*Raphidiophrys* sp.) が6,800個体/Lに増加し、引き続き優占種となった。先週増加が見られたピコ植物プランクトンは、輝橙色のものが46,000細胞/ml、深赤色のものが20,000細胞/ml計数され、合計66,000細胞/mlと減少した。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
太陽虫類	<i>Raphidiophrys</i> sp.	6,800

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	420

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
生物圏担当

(2) 植物プランクトン

平成24年5月1日

第5報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	4700	◎	◎
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	47		
(珪) <i>Melosira varians</i>	3		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	54		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	15		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	90		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	110		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	1600	○	○
(珪) <i>Asterionella gracillima</i>	210		
(珪) <i>Synedra ulna</i>	20		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	2		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	10		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	16		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	21		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	13		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	4747	67.9	46.3
(珪) 珪藻綱	2142	30.6	33.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	2	0.0	2.1
(褐) 褐色鞭毛藻綱	30	0.4	0.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	71	1.0	17.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	6992	総体積	2.81E+06
種 類 数	21	(μm ³)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし * 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	5月1日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	66,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2μm(1μmlは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。